

チャレンジ！SDGs C&Sの取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs達成に向けて、当社では主に以下の課題に取り組んで参ります。

SDGs 3	全従業員およびその家族の健康をまもる
SDGs 5	女性の活躍機会の創出
SDGs 8	イノベーションの創出、ヒューマンセントリックな働き方
SDGs 11	環境にやさしいきれいな街づくりに貢献
SDGs 13	脱炭素社会への貢献
SDGs 14, 15	自然を大切にする心を育む

限られた社内リソースにて最大限の効果を生むための取組み

経済



基礎となる技術・データ[AI技術の修得、ICTを活用したヘルスケア分野での新たな価値創出]

- ⑧ Python修得者の拡大（2026年までに+10名）
- ⑧ 直販による顧客価値創出（2025年までに自社パッケージ拡販 +1件）
- ⑰ 富士通Japan様からの戦略案件受注（2026年までに3件）
- ⑰ 富士通様の販社登録を達成する（2024年度中）

社会



働きやすい職場づくりを追求

- ③ 健康経営の推進（2025年3月までに健康経営優良企業2025中小企業認定を取得する）
- ⑤ 女性の活躍推進（2027年までに女性幹部社員を+1名新規登用）
- ⑧ 働き方改革（2024年度中にリモート室を30名収容可能とし、端末+10台を実現する）

環境



循環型社会への貢献

- ⑪ 地域ボランティア（周辺ゴミ清掃、植林）への参加（2030年までに地域ボランティア活動へ参画する）

徹底した省エネの推進

- ⑬ 電気使用量削減（SBT WB2°C水準の目標設定に沿った取組）
- ⑬ 照明器具のこまめな消灯、PC未使用時のスリープモードの設定等（2022年を基準年とし、2030年に年間削減率2.7%を達成する）

日本政府の「SDGs実施指針」との対応

日本政府が策定する「SDGs実施指針」にある8つの課題と「SDGsアクションプラン」にある3つの方向性を大枠として十分意識し、社内のリソースにて最大限の効果を生むために、以下の計画にて推進する。

日本政府が掲げる8つの優先順位

- 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
- 省・再生可能エネルギー、防災・気象変動対策、循環型社会
- 生物多様性、森林、海洋等の循環の保
- あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー情動の実現
- 健康・長寿の達成
- 平和と安全・安心社会の実現
- SDGs実施推進の体制と手段

3つの方向性	当社の取り組み
<p>【経済】 ビジネスとイノベーション SDGsと連携する「Society5.0」の推進</p> 	<p>基礎となる技術・データ [AI技術の修得、ICTを活用したヘルスケア分野での新たな価値創出]</p> <ul style="list-style-type: none"> Python修得者の拡大（2026年までに+10名） 直販による顧客価値創出（2025年までに自社パッケージ拡販 +1件） 富士通Japan様からの戦略案件受注（2026年までに3件） 富士通様の販社登録を達成する（2024年度中）
<p>【社会】 次世代・女性のエンパワーメント 女性の活躍推進、ダイバーシティー</p> 	<p>働きやすい職場づくりを追求</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康経営の推進（2025年3月までに健康経営優良企業2025中小企業認定を取得する） 女性の活躍推進（2027年までに女性幹部社員を+1名新規登用） 働き方改革（2024年度中にリモート室を30名収容可能とし、端末+10台を実現する）
<p>【環境】 SDGsを原動力とした地方創生 環境にやさしい魅力的なまちづくり</p> 	<p>循環型社会への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティア（周辺ゴミ清掃、植林）への参加（2030年までに地域ボランティア活動へ参画する） <p>徹底した省エネの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気使用量削減（SBT WB2°C水準の目標設定に沿った取組） 照明器具のこまめな消灯、PC未使用時の「リフモード」の設定等（2022年を基準年とし、2030年に年間削減率2.7%を達成する）